

## 茅ヶ崎市市民活動推進委員会議事録作成例

本作成例は、令和5年度第1回茅ヶ崎市市民活動推進委員会（令和4年度実施市民活動推進補助事業実施報告会）の議事録の冒頭を一部編集したものです。

本委員会委員、事務局等の発言は原則全部録として作成し、提案団体の発表部分のみ省略した形となっています。

なお、委員や事務局との質疑応答などは原則全部録として作成します。

### 令和5年度第1回茅ヶ崎市市民活動推進委員会会議録

議題	(1) 令和4年度実施市民活動推進補助事業実施報告
日時	令和5年6月24日（土）9時00分から12時40分
場所	市役所本庁舎4階 会議室4・5
出席者氏名	大畑朋子 町田有紀 坂田美保子 船山福憲 雫石剛 原田晃樹 山田修嗣 事務局4名（市民自治推進課） 三浦課長、小西課長補佐、服部副主査、柿澤主任
欠席者	市川歩 菅野敦 紀伊智裕
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者数	27人（内オンライン4人）

○司会

皆さんこんにちは。

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより令和4年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会を開催いたします。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日の報告会の開会にあたりまして、佐藤光茅ヶ崎市長より一言ご挨拶申し上げます。

○市長

皆さまおはようございます。

早朝からお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

コロナ禍になってもう3年以上が経ちます。

私の一番の仕事としましては、市民の皆さまの命と健康を守る、これが第1でありました。

逆にそのことによって、様々な団体の皆さんの活動を止めなければいけなかったということには、率直に皆さまにお詫びをしたいと思います。

本当に申しわけございませんでした。

ただそういった中でも、昨年令和4年度は、皆さまが様々な工夫をしていただきまして、できないできないではなく、できることからやっていただいたことに本当に心から敬意を表します。

今日はその報告会ということでございますけれども、ぜひ各団体の活動を知っていただいて、お互いにいいところがあれば、それは吸収し合う、或いは一緒にコラボできるところがあれば、コラボする。団体の奥行きの高さというのを作っていただければありがたいと思っておりますし、この事業を設定するために、委員の皆さまにも本当にお骨をお折りいただきましてありがとうございます。

この団体の中には茅ヶ崎市のみならず、神奈川県からの表彰を受けた団体もごございます。

茅ヶ崎だけではとどまらず、もっともっと大きく羽ばたいていく、そんな補助制度にしていきたいと思っておりますし、この基金は市民の皆さま或いは企業版ふるさと納税等で成り立っているところもごございます。

大変重要な浄財をいただいている事業でございますので、これからも温かく見守っていただきたいと思っております。どうぞ本日はよろしく願います。

○司会

恐縮でございますが、佐藤市長は次の公務のため、これを持ちまして退席とさせていただきます。

それでは続きまして、市民活動推進委員会の山田修嗣委員長よりご挨拶を申し上げますとともに各委員をご紹介します。

委員長よろしくお願いたします。

○山田委員長

おはようございます。山田と申します。

市民活動推進委員会を代表いたしまして一言、ご挨拶を申し上げたいと思います。

今日皆さんにこれから発表いただきます内容は、正式名称が市民活動げんき基金補助事業というものです。その補助金に基づく活動について今日この後、ご発表いただく予定です。

この事業は、正確に資料通り申し上げますと、市民活動を推進するための環境を整備し、市民活動の活性化を図ることにより、活力溢れる地域社会の実現を目指すこと。これが目的となっている事業です。

茅ヶ崎市では平成17年度からこの事業を実施しておりまして、総数で約180件の支援実態があるということです。

そうした中に位置付けられている皆さまの活動は、もちろん市の中で展開していただいて、さらに茅ヶ崎市がより良く暮らしやすくなるようにという様々な市民に向けてのサポートが行われてきているところだと思います。そのようなところと一緒に情報を共有しながら、私たち委員としても、その内容をいかに充実させるべきなのかといった点について、委員会の中での議論、情報に役立ててまいりたいと思います。

それから同時に市長の挨拶の中にもありました通り、このような市民活動をなさっている皆さんの中での共有情報として、さらに磨きをかけていくための内容として、ご活用いただくといった狙いもあります。

そういった会にできれば、すばらしいことではないかと思っております。

今日は令和4年度に市民活動げんき基金からの補助を受けた9団体の皆さまにお集まりいただき、事業の成果を報告いただきます。

ただ、令和5年度の申請の際にお目にかかったという団体の皆さんもいらっしゃいますし、全然知らない人というわけではないと思いますので、様々な意味で意見交換や、情報共有が活発になされることを期待して、私からの挨拶に代えさせていただきます。

それでは順番に委員会の委員を紹介します。

原田委員です。

副委員長を担当くださっております。

大畑委員です。

町田委員です。

坂田委員です。

船山委員です。

雫石委員です。

以上7名の委員で進めて参りたいと思います。

今、1つ空席がありますけれども、後程合流されれば8名で進めてまいりたいと思います。

よろしくお願ひ申し上げます。

#### ○司会

なお本日の報告会につきましては、Zoomのウェビナーという機能を使いまして後ろにありますカメラで配信を行っております。

もうすでに数名の方がご覧になっておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の報告会の流れについてご説明いたします。

配布しております冊子の1ページめくったところスケジュールをご覧ください。

これから12時半までの時間の中で、令和4年度に実施しました市民活動げんき基金補助事業のスタート支援1事業、ステップアップ支援8事業についてご報告をいただきます。

発表の時間配分についてご説明します。

まず、報告団体より10分以内で事業について説明をしていただきます。時間管理について申し上げますと、終了1分前に一度ベルを鳴らします。その後、予定時間の10分になりましたら、2度ベルを鳴らします。説明が終わりましたら、市民活動推進委員会の委員より質問やアドバイス等を行います。こちらについては、6分程度予定しております。説明中に2度ベルが鳴りましたら、途中であっても、速やかに説明を終了していただくようお願いいたします。思いのこもった事業を短時間でアピールしていただくのは大変なことかと思いますが、どうぞご協力いただきますようお願いいたします。

また本日の報告会の様子につきましては、撮影等をさせていただいて市ホームページ、広報紙等でご紹介させていただく場合がありますのでご了承ください。

最後になりますが、この補助金は市民活動げんき基金を原資として補助をしております。冊子の5ページから6ページにかけましてご寄附をいただいた皆さまを記載しております。

また、令和5年度実施事業につきましては、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン様のからの企業版ふるさと納税制度を活用して補助を実施しております。

令和5年度事業につきましては、実施事業を掲載した冊子が受付にありますので

もしよければご覧ください。

皆さまからのご寄付がなければいずれこの補助金はなくなってしまいます。  
当会場にも募金箱を用意しておりますので、ご協力をお願いいたします。

それではこれから各事業の報告を行って参ります。

まず、多様性野菜活用の料理教室につきまして、多様性野菜活用支援協会様から  
ご報告していただきます。よろしくをお願いいたします。

#### ○多様性野菜活用支援協会

##### 《多様性野菜活用支援協会より事業概要を説明》

#### ○山田委員長

それでは委員より質問コメントをさせていただきたいと思います。

#### ○原田副委員長

参加者を募られたということですが、具体的にどういう条件で、社会貢献と  
いうことでやられたと思うのですが、例えば、社会貢献とはどういうものか、  
ボランティアな活動をするということで募集されたのに、お金を要求されたとい  
うことですか。

#### ○多様性野菜活用支援協会

お金を要求されることはないのですが、説明会した後の反応というのが止ま  
ったのです。

なぜかと言えば、副業ではないという認識に立ってもらえなかった。

つまり、副業と思って説明会に来て、副業ではないという認識になった。

つまり、募集をかける段階でちゃんとその説明ができていなかったことがわか  
った。ですので、そこは少し反省すべき点になるなということ。

#### ○船山委員

地元農家さんの野菜を得ようということで、土日の球場に赴かれた、トライした  
けれども、うまくいかなかったというのは具体的に何が上手くいかなかったのでし  
ょうか。

#### ○多様性野菜活用支援協会

うまくいかなかったのは、朝市が土曜日ありますよね。

1軒の農家ではなくて、10軒くらい出していただいて、順番に挨拶しながら名刺交換したのですけれども、その後ご連絡いただけませんでした。そのあと車で回るわけにもいかず、2週連続でやったのですけれども、この人たちは少し無理だなと思いました。

彼らは彼らで野菜を使った料理教室を有料でやっていた。

そこと競合してしまうことがあるので、これ以上言うと相手に迷惑がかかると思いました。

やっている目的が違うのです。向こうは、いわゆる廃棄野菜、規格外野菜を使うのではなくて普通の野菜を使う。うちは規格外野菜を使うので。

もう一つ、規格外野菜というのは常に出るわけではないのですよね。これもすごく難しいのですよ。

そのへんの趣旨を理解してくれた鎌倉野菜さん、すごく大きな農家なのですけれども、いつもは出ないけれど、出たらばっと出るから、それは声かけてもらって、逆に言うと、開催日をあらかじめ言ったことによって、その日に合わせて、規格化野菜を収穫、朝してくれるのですよ。

すごい安くやっていただいたので、その辺の市場をまた茅ヶ崎農家さんにはこうやってもなかなか納得してもらえないという部分があったので、結果的には鎌倉野菜さんをお願いしたということになりました。

#### ○雫石委員

茅ヶ崎の農家さんは1ヶ所にだけ確認したということですか。

茅ヶ崎は広いから、海の方ではなくても山の方でもどこでも農家さんいっぱいあると思うのですけれども。

#### ○多様性野菜活用支援協会

市営球場に来ているのはみんな山側の人なのですよ。

実際来ているのは、車で皆さんお越しいただいて、矢畑とか中島とかあっちの方でやっている方が中心でした。

だんだん調べてくると、農業水産課の人にも1回相談したのですが、あそこに入っている農家と入っていない農家があって、それぞれ別々の団体になっていて、そこは非常に複雑な関係にあるみたいで、変につつくと後で面倒くさくなるとすごく感じたので、逆に言うと、代表の堀江さんと私の知り合いが農家をやっていたらその人に頼めばいいと。逆に思ったのです。

#### ○坂田委員

発表を拝聴して、いろいろと反省の面がかなりあってご苦労したことが本当に実

感として伝わってきました。

この事業は、様々な目的が一緒に合わさっているのですよね。

廃棄野菜を使うこととか、或いは料理教室を使って場を作るだとか、それからSDGsもあると思います。

複数の目的が絡み合っている事業ですので、やはりどう市民の皆さまにPRして理解していただくかというところが、すごく難しいなと感じました。

ですので、どういうところを訴えて共感してもらえるか、事業計画の中で段階を追ってプロデュースしていけるような計画づくりが、もしかしたら求められるのかなと思いましたので、ぜひ23年度も頑張っていたきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○多様性野菜活用支援協会

ありがとうございます。

本当に坂田委員のおっしゃる通りで、段階を追ってどうやっていったらいいか、今年、昨年の失敗を踏まえて、うまく焦らず、確実にやっていきたいと思っています。

以下省略